



学校だより

あーよかったな あなたがいて

第10号

平成31年2月22日
高岡市立戸出西部小学校

「スキー学習 天気よし 雪よし 滑りよし」

校長 要藤 明人

2月1日（金）に、天気よし、雪よしのタカンボースキー場で5・6年生のスキー学習を行いました。5・6年生学年別で17班をつくり、17名の外部指導者の指導を受けました。

それぞれの班のレベルに合わせた指導で、子供たちは見る間に上達していきました。片足スキーで歩いたり、ハの字で止まったり等の練習を重ね、初めてリフトに乗ることができ歓声をあげている様子も見られました。付き添いの教員たちは、それぞれの班にサポート役でつき、慣れない子供たちも安心して指導者の言われることに挑戦していました。

午後もたっぷり滑ることができ、「あー、楽しかった」と言う声がたくさん聞こえてきました。野外での活動は、天候等に左右され、期待通りにいかないことがあります。しかし、条件がそろうと期待以上の成果がある。新しい発見や驚きがたくさんあります。よき自然、よき指導者のお陰で子供たちの成長につながるスキー学習となりました。



「幸せなら手をたたこう」で感謝式を行いました



2月15日（金）に、戸出校区見守り隊員の皆様、各自治会長、民生児童委員、高岡交通安全協会戸出支部の皆様たちをお招きして、日頃の見守り等への感謝の気持ちを込めた「感謝式」を行いました。

子供たちが描いた絵入りの軍手をプレゼント。全校合唱「大切なもの」を聴いてもらった後、「幸せなら手をたたこう」の音楽遊びで交流を行いました。手をたたこうで手を合わせ、肩たたこうで互いの肩をたたき合い、ほのぼのとしたひとときとなりました。

子供たちの安心・安全が学校でも家庭・地域でも第一優先です。大きな事故なく子供たちが安心して生活できるのも子供たちを見守ってくださる方々がおられるからこそ。これからもよろしくお願ひします。

詩紹介⑩（宿題、手伝ってもらうのはうれしいけれど…）

まそき草道見ハ学 ③二
だこれの路付|校野 月
あにい中のけトへ村 | 四
る□だに横たの行く光の石
か□っ隠の 形く途(小1)
なきたれ のの石を
たけたて
どた



母やた運提 ②一
もめめ針出 速 思
な めめ息を 水 家
ん て息を見 朝 庭
ん てくを 朝 科
だ だつ 子 出
さ さい の 先生
い は の (86歳)

思幼今よ□マ ①一
つっ稚日か っこの 佐藤 月
てと園 たな 藤 二
い だ てる 貴 十
た たなあ ころ 八
ん だあ っ ね
だ よ っ て



空□ないこいあみあ空 ⑥二
の□いよつたあありの 月
日□だみでものすは 二
けにに空は 空は 子(詩人)
空は 空は 空は 空は



□と絶わう待い待 ⑤二
だ 対たれつっい 高 月
か 生しし 丸 約
ら きてが い けの 束 二
 いてい もれも 子(詩人) 十
 いる うらうの も 二
 日



刺□肉ほくこ ④二
さ□がんとしこの 松 月
っ っ だ 漢 石 七
つ だ 字 光(4歳) 日
て 読 読 読 読
い の の の の
る の の の の



ゲームをしていいんです我慢しなくていいんです ただし…

実業家の斎藤一人氏は、「好きなものとか、やりたいことは減らす必要はない」と言います。それは、自分の好きなことを、「やっちゃいけないんだ、我慢しなきゃと思っただけでも、人って元気をなくしてしまうから」とのこと。

また、斎藤一人氏は、『使命』とは、「自分にとってわくわくして楽しいことで、自分の使命をやっていると人の幸せに協力していることになる」とも言っています。

ただし、好きなものとか、やりたいことをするには、お金がいます。だから大人は仕事をしてお金を稼いでいる。その稼いだお金を使うことが人の幸せに協力することになると言うのが斎藤一人さんの考えです。

子供のことで考えてみましょう。ゲーム好きな子供は、もちろん、ゲームをしていいんです。我慢しなくていいんです。ゲームができないと元気がなくなってしまうからね。

ただ、大人が好きなものとか、やりたいことをするために仕事をしているとしたら、子供も大人の仕事に匹敵することをする必要がある。そうです。勉強ですね。子供にとっての仕事は勉強。勉強はいやだな、と思ってもやらなければならない。ゲームが好きならゲームをするために。

ところで、高岡市内全小学校の4年生が「メディアとのつき合い方を考えよう」というリーフレットを使い大切な脳を守り、心と体がよりよく成長できるようなメディアとのつき合い方を考える学習をしています。もちろん、メディアは、上手につき合えば、楽しく勉強ができた、分からないことをすぐに調べたりでき便利なものです。一方、メディアを使いすぎると脳がうまく働かなくなることや、やり続けるとやめたくてもやめられなくなる危険性もあります。ゲームをするのを我慢しなくていいにしても、やはり、やり過ぎは心にも体にもよくありません。

小児神経科医師行枝貴子氏は、「メディアによる依存症の段階になることが問題であって、禁止するのではなく賢く使う、すなわち自分でコントロールする力を育てることが大切だ」と話

しています。行枝貴子氏が言われる「自己コントロール力」をつけることは、子供も大人も一生の宿題のうちの一つかもしれませんね。



pixta.jp - 28199002



奇想を起こそう 西部っ子③ 標語・川柳でリズム感アップ!

先日、富山県川柳協会の方が、入選作品集を持ってこられました。本校からは、20名の子供たちの作品が入選していました。協会の方が帰られる時、廊下掲示の子供たちの給食標語に見入っておられました。子供たちの作品に感心の様子でした。

子供たちは学校行事等での標語や応募となる川柳に定期的に取り組んでいます。宿題で、家の人のお知恵を拝借することもあります。協会の方は、どんどん家の方と相談してよいと話しておられました。川柳を介して家庭での会話につながればうれしいとのこと。

『不器用が 川柳つくる 武器よ』(作要藤 非入選)

